

立山黒部ジオパークのESD



2022年

ユネスコの掲げるSDGsは経済や環境、社会や制度のシステムがうまく働いて、未来が豊かで幸せであり続けられるための目標です。ESDはこの目標達成の一環として持続可能な未来や社会の構築のために行動できる人の育成を目的とする教育です。

地球の活動の歴史といえる大地の地形やその上に育まれた自然と人の文化を「地球の宝もの」として再発見・再活用することで、その大切さに気付いてそれらの宝ものを次の世代へ伝える活動をジオパークは行っています。これらがジオパークにおける教育プログラムにも反映しています。

立山黒部ジオパークでは、これまで学校教育・社会教育・ジオツアーなどで多様な取り組みを行ってきました。特に学校教育では学習指導要領に対応する地域内の地形や地質・自然・生活・文化を教材とした特徴ある出前授業などを市町村や学校のニーズに合わせて実施しています。

自分の住む地域のジオ・エコ・人々の暮らしの特色や課題を知り課題を追究していくことが、自分自身の在り方や生き方を育んでいくことになると考えています。

<2020年度~2021年度>

黒部市小学校9校 高学年ジオパーク体験学習
「トロッコ電車で樺平と黒部川見学」



黒部市生地小学校
5年総合的な学習
「生地の清水の
秘密を探る」



富山市立広田小学校5年理科
「常願寺川の洪水から地域を守る」



富山市立広田小学校6年総合的な学習
「富山の災害は少ない？広田地区の災害」



滑川市生涯学習

「滑川のジオパーク体験ツアー」



滑川市小学校

小学校 5年

「滑川のジオパーク キラリン号体験ツアー」



滑川市立滑川中学校

「滑川のジオパーク」



富山県立高岡高校・富山県立富山高校 探求科

「立山実習」



上市町小学校 6校 6年生理科

「ふるさと学習-上市町の地層と化石-」



魚津市立よつば小学校 6年理科

「大地のつくりと変化~立山弥陀ヶ原火山~」

